

JICA Biz とは？

日本の民間企業等の優れた技術・製品を開発途上国の開発に活用することで、現地の課題解決のみならず、民間企業等の海外ビジネスの成功及び地元地域の経済活性化というWIN-WIN-WINの状況を目指します。

● 支援メニュー

「中小企業・SDGsビジネス支援事業(JICA Biz)」の支援メニューは、以下の2つで構成されています。企業規模およびビジネスの段階に応じてお選びください。

JICAがあらかじめ配置した開発途上国ビジネスの知見に富むコンサルタント(JICAコンサルタント)が伴走支援します。

ニーズ確認調査

ビジネスモデルの検証

- ・現地で仮説の確認と不足情報を収集したい
 - ・現地ニーズに提案製品、サービスが合うか確認したい
- (期 間) 上限12か月
(調査経費) 上限1,500万円 ※現物支給のため基本立替払いは発生しません

ビジネス化実証事業

ビジネスプラン(事業計画)の策定

- ・ビジネスとして成立、持続するか確認したい
 - ・体制や運営方法を確立したい
- (期 間) 上限2年6か月
(調査経費) 上限4,000万円 ※現物支給のため基本立替払いは発生しません

各メニューの対象企業はJICA 公式ウェブページよりご確認ください。

● 応募から採択までの流れ

募集説明会(毎年5月頃)

プレ公示(毎年8月頃)

公示(毎年9月頃) ※事前コンサルテーション(応募相談)不可

応募締切(公示開始から1か月程度)

採択通知(毎年12月頃)

応募相談(事前コンサルテーション)を通年でを行っていますので(公示期間を除く)、ぜひご相談ください。
ご希望に合わせて対面、オンラインのいずれかで対応しています。



まずはご相談ください！

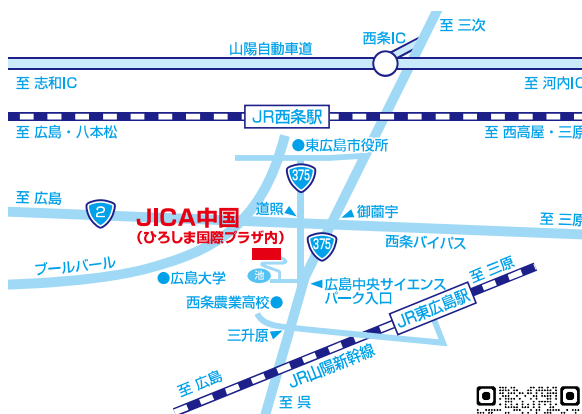
対面・オンラインのいずれかをお選びいただけます

JICA中国 民間連携事業班

Phone 082-421-6300

E-mail cictad@jica.go.jp

Address 〒739-0046
広島県東広島市鏡山3-3-1
ひろしま国際プラザ内



www.jica.go.jp/domestic/chugoku/index.html



中小企業・SDGsビジネス支援事業

JICA Biz

自社技術・製品で開発途上国の課題解決に貢献しませんか。

JICAは政府開発援助(ODA)を通じて築いた開発途上国政府とのネットワークや信頼関係、ノウハウがあります。

日本の民間企業等による開発途上国への海外展開をサポートしています。



海洋建設株式会社 提供

民連携事業
ご紹介ページ



www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/index.html

中国地方での動き

2010年度以降、中国地方からは80件を超える案件が採択されています。

日本企業の製品・技術について、開発途上国での活用可能性の調査・実証を通し、企業の海外展開と開発途上国の開発促進を目指しています。

中国地方での
実績はこちら⇒



中国地方での採択案件

採択事業検索はこちら⇒



株式会社ニッカリ(岡山県岡山市)

案件名 モノラック導入にかかるビジネス化実証事業

対象国 ネパール

日本製の安全でコンパクトなモノレールを導入することで、山間地農業、生活改善を促進するとともに、山間地の災害対策、インフラ整備への貢献をめざす。



ネパールの工事現場にモノラックを設置して実証試験をする様子



現地の関係者を日本に招聘して実際の稼働を視察(瀬戸内の桃園の様子)

企業からのコメント

日本では当たり前前の技術やサービスであっても海外ではまだ当たり前ではないことはたくさんあります。日本企業が海外で役立てる機会は多くありますが、中小企業が単独で海外に打って出るには情報量とノウハウが課題です。ぜひJICAさんの支援を受けて世界へ向けてチャレンジしてみませんか？

株式会社ウエスコ(岡山県岡山市)

案件名 人工湿地による汚水の自然浄化とグリーンインフラ整備のためのニーズ確認調査

対象国 サモア

干満式人工湿地による汚水浄化システムを利用し、島しょ国固有の問題(少人口、遠隔性、自然災害等)を踏まえた持続可能な水質浄化技術のあり方について調査。



村に設置されたバイオガス視察



ノニ工場視察

企業からのコメント

現地の方々の自然との共存やきれいな水の循環を尊重する暮らしを実感し、現地の課題を解決したいという意欲がより高まりました。今後は、サモアと同様の課題を抱える周辺国への展開も考えています。

海洋建設株式会社(岡山県倉敷市)

案件名 シェルナースを用いた持続可能な漁業に係る普及・実証事業

対象国 メキシコ



沈設したシェルナースに集まる魚群

シェルナース(人工漁礁)を沈設し、生物多様性の回復と漁業資源再生の効果を検証。現地関係者からなる里海協議会を創設し、地域住民と協働しながら持続可能な漁業を進める里海計画を策定。

企業からのコメント

「海を豊かに！」という想いは、国境を越えて世界共通です。JICAさんの活動を通じて、現地の方々との深いつながりが生まれました。新しい仲間との出会いは、笑いあり涙ありの、かけがえのない体験を与えてくれます。

株式会社トロムソ(広島県尾道市)

案件名 もみ殻を原料とした固形燃料製造装置の普及・実証事業

対象国 マダガスカル

薪炭の利用拡大により森林伐採が進行し、代替となる安価かつ持続可能な燃料の入手が課題となっている背景を踏まえ、もみ殻のみを材料とした固形燃料製造装置の導入の可能性を調査。



もみ殻を固形燃料化する作業



もみ殻固形燃料を薪の代用としてかまどで使用する様子

企業からのコメント

現地での事業成果をもとに、同国内への拡大と共に他国への展開に挑戦中です！

多機能フィルター株式会社(山口県下松市)

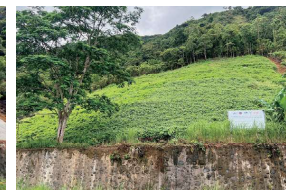
案件名 法面保護用侵食防止・植生マットの普及・実証・ビジネス化事業

対象国 フィリピン

法面の土壌侵食防止と計画的緑化を同時に且つ簡便に実現できる技術を利用した法面保護マットの実証及び現地行政機関への技術移転を目的とした事業。法面に起因する土砂災害リスク軽減への貢献を目指す。



施工直後



施工3か月後

企業からのコメント

JICA事業での実証を通じ、現地行政機関と築いた信頼関係は、単独進出では得られない大きな財産となりました。現地社会との『公的な信頼』を得られるこの枠組みは、自社の技術を海外で試したい企業にとって非常に心強い後押しとなります。